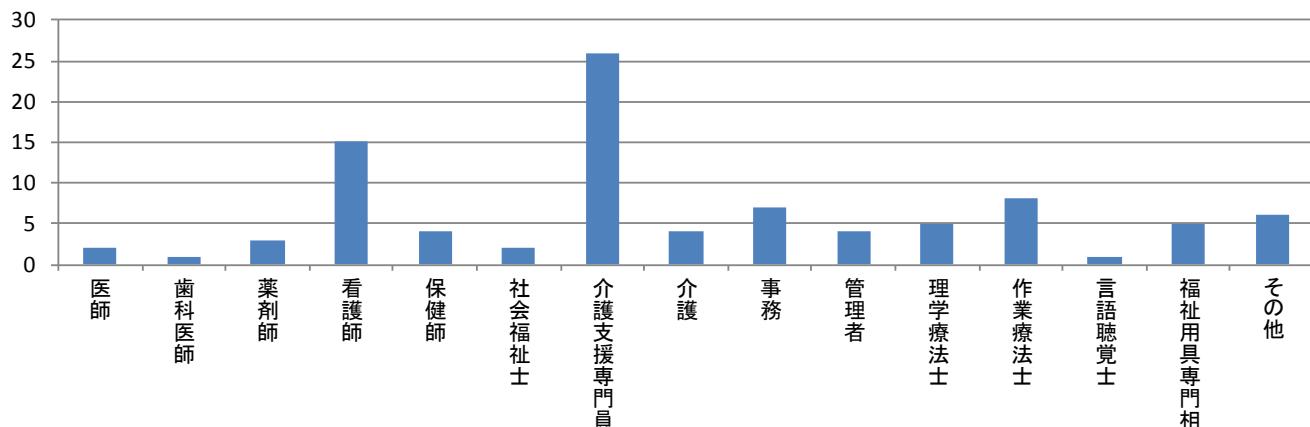
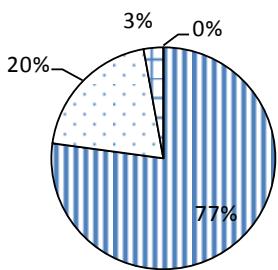


認知症ケアパス普及研修会 アンケート結果

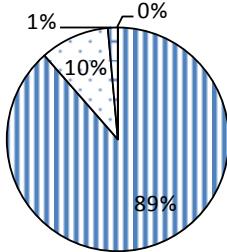
参加者内訳



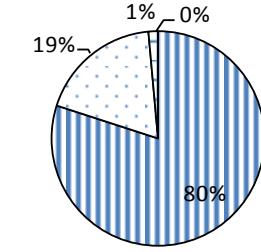
認知症ケアパスを理解出来ましたか？



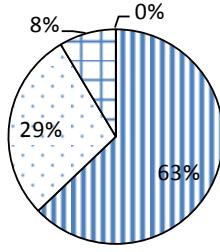
認知症の地域連携パス（新見版情報共有書の認知症版）が必要だと思いますか？



自分の考えを発表することが出来ましたか？



グループワークの時間は十分でしたか？



研修会参加者数 93名 アンケート回答者 74名 回収率 80%

Q6 当地域が、認知症になつても安心して暮らせる地域になるには何が大切だと思いますか？（自由記述）

- ・認知症に対する理解と、認知症を普通に受け入れてもらえる環境と場所。
- ・認知症について、地域の人にも理解してもらう事が大切だと思った。
- ・幼少期からの教育をしていく中で、自然に受け入れができる、触れ合えていれば、偏見なく共存できると思います。
- ・地域主体で支え合う。相談しやすい地域の総代、民生委員さんなどに話をしてみる。認知症が恥ずかしいとかプライドもあるので、いきなり包括というのは難しいかも。段階をおつっていく相談しやすい窓口が必要。一人で絶対に抱え込ませない努力も必要。
- ・地域で支える体制作り。
- ・地域の人の認知症の理解、知識の周知。
- ・学校・子ども⇒お年寄り、近隣の人付き合い。
- ・若い人たちの理解の工夫、キャッチャーな言葉でひきつける。
- ・地域の人の理解、見守り。
- ・若い世代の人の協力と理解がとても大事だと思います。大、高、中、小など、学校の授業でも学ぶような取組もあればいいと思います。
- ・認知症の理解、早期発見、利用できるサービスが、資料、講演会を通して十分に知ることが出来ることが大切かと思います。
- ・周りの理解、思いやり。
- ・専門職が認知症をより理解する。
- ・一般の人にとって、垣根の低い病気となる。特別な病気ではなく、誰でもがなる可能性のある病気だと理解し、広く浸透させる。そのためには若年世代に知らせるべきで、知らせたら、早期の治療に結びつける方法の確立を。
- ・住民力、家族の知識深める。
- ・認知症に対する偏見をなくす。
- ・多くのサポーターがいて、みんなが助け合う地域であり、子供のころから認知症についての話をして、少しづつでも理解してもらう。

- ・認知症になった人（認知症への偏見は強いと思う）を地域の人が受け入れる事、他の病気と同じ様に、ある程度は治療しながら生活できるよう病気の理解が必要。
- ・行政、看護、介護、地域での認知症の正しい理解と協力体制が必要。
- ・地域への還元を行っていく必要性がある。
- ・認知症の正しい理解と、気軽に受けられるサポート体制。
- ・人と人の関わり
 - ・サポートする人が不安にならない、本人も沈みがちにならないようになることが大変。
 - ・これから未来を担う子供たちに「認知症」について、しっかり理解してもらい、そういう勉強する機会の中で意見を出し合い、子どもから「認知症」に関する事を子どもの目、子どもの心で感じた事、考えをとことん発信してもらい、それをまた子どもと大人で共有しながら、良い方向にいけたらと思います。
- ・住民、地域が主役、技術の穴埋めのサポート、市民が主体的に動けるように。
- ・認知症にならないよう日頃からの地域での交流が必要ではないでしょうか？街中に小規模多機能施設があればと思います。
- ・人材育成
- ・笑い↑
- ・サポートを養成したあとの、具体的な活動が必要だと思います。（そのための研修会等）
- ・早期発見のための取組
- ・食時等の生活支援
- ・医療（受診方法、薬の飲み忘れ予防）、見守り
- ・家族が戻ってきて住めるような、教育、医療、産業があること。
- ・もう少し集落の数を減らして、資源を投入しやすくすること。
- ・専門医が少ないので、時間がかかり受診しにくい。
- ・受け入れ施設がしっかりある。
- ・多職種の連携。
- ・ガイドブックを一般の人により分かりやすくする。

例：認知症という言葉をふせ、生活の中で困っていることを表示する。また、絵も多くする。手に取って見たくなるようなガイドブックを作る。

Q7 講義の内容や、会議の企画・運営に対するご意見（グループワークの方法など）があればお書き下さい。

- ・グループ交代は沢山の方と話や相談が出来てよかったです。
- ・もっと時間があればと思いますが、短時間でとても有意義な意見交換が出来たと思います。今後も参加したいと思います。本日はありがとうございました。
- ・グループを入れ替わったら、流れが止まったように感じました。
- ・グループワークで検討する内容を統一するようにしたらどうか？
- ・途中でグループを変えるという試みがよかったですか悪かったですかわからない。
- ・グループワークの時間は長ければ長いほど良い。
- ・グループ替えはとてもいいと思います。
- ・楽しく活発な意見が出て良かったです。
- ・テーマが大きすぎでは？少し細かいテーマの方が話しやすい。
- ・内容から検討するものが漠然としていた。
- ・意見発表の時間を増やしてほしい。
- ・ガイドブックの簡素化
- ・たまには同職種同志のグループであっても面白いのではないかと思いました。
- ・この会議の中だけで終わらないように、出前講習に出て行けるような技術を得ることが、出来るようになればよいのではないか？
- ・行政の現状を知りたい。（活動、独居老人）
- ・うつ病について

※同じ内容のご意見はまとめて掲載させて頂きました。